

# 事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No. 4041 (H.24)No. 4041

事務事業名	地域防災無線設備整備事業			事業区分(複数選択可)	ソフト施策事業
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先		扶助費
企画財政部	危機管理室	田中 浩之	63-7271		補助金交付金
新・継	事業期間	根拠法令等			投資事業
継続	平成 19 年度 ~ 平成 23 年度				施設等維持管理
					内部管理事務
				特別及び企業会計、組合	

## 1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	2	安全で安心な地域づくり
	施策	1	防災
	小施策	1	災害に強いまちづくり
重点施策コード			

## 2. 予算区分

会計区分	事業コード	453201
一般会計	(中事業名)	予算書事業名
款 消防費	地域防災無線設備整備事業	
項 消防費	(小事業名)	
目 防災対策費	地域防災無線設備整備事業	

## 3. 事務事業の概要

<p style="text-align: center;"><b>事業概要</b></p> <p>既存のアナログ無線をデジタル無線に移行するため、平成19年度に「名張市地域防災無線設備整備事業 基本設計書」、平成20年度に「名張市地域防災情報通信システム詳細設計書」を策定し、移動系のシステムは平成21年度に「三重県防災行政無線全共用型によるデジタル無線の整備」を行いました。また、同報系のシステムは今年度に「同報無線の代替設備としてコミュニティFM連携システム及び防災メールの導入」により整備を行いました。</p> <p>また、内閣官房からの有事関連情報、気象庁からの緊急地震速報などを、総務省消防庁を通じて受信する全国瞬時警報システム(J-ALERT)も整備し、上記同報系のシステムとの連動を可能としました。なお、コミュニティFM連携システムにあつては、追加整備工事を平成22年度内で完了する予定でしたが、東日本大震災の影響で整備工事で必要な部品が入荷出来なかったため、事故繰越として平成23年度に整備を完了しました。</p>	<p style="text-align: center;"><b>めざす効果(事業目的)</b></p> <p>災害時に地域住民の不安を最小限にするために、地域住民からの迅速な情報の収集と、地域住民への適切な情報伝達を目的として整備します。</p>
--	---

## 4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成23年度 (実績・決算見込)	平成24年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理
主な事業の実績・計画	<平成22年からの事故繰越明許費> コミュニティFM連携システム整備工事 10,563千円	平成23年度にシステムの整備が完了。	補助金・交付金	その他 ( )	
			平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)	平成27年度 (計画)
直接事業費	(10,563千円)	0千円	0千円	0千円	0千円
財源内訳 (千円)	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債	(10,500千円)			
	その他( )				
一般財源	(63)	0	0	0	0
人工数	職員 (0.10人)				
	臨時職員等				
概算人件費	(730千円)	0千円	0千円	0千円	0千円
+ 総事業費	(11,293千円)	0千円	0千円	0千円	0千円

概算人件費は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成23年度の( )内の数値は、22年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。特別会計及び組合会計の一般財源欄には当該会計上の一般財源を、企業会計の一般財源欄には一般会計繰入金を記載しています。平成25年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

### 5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24	
活動指標	目標	防災訓練を実施した地区数(延べ値)	地区	-	-	-	-	530
	実績			105	291	352	456	
成果指標	目標	地震等の災害への備えをしている市民の割合	%	-	-	-	-	38.0
	実績			35.7	35.4	36.9	38.2	
	目標							
	実績							

### 6. 考察(前年度の評価)及び今後の対応方針

考察(前年度の評価-各指標等)	今後の対応方針
コミュニティFM連携システム整備工事を完了し、災害要援護者等に名張市告知放送受信機(防災ラジオ)を貸与しました。	名張市告知放送受信機(防災ラジオ)を計画的に整備し、災害時要援護者(新規対象者)に貸与を継続的に実施し、地域内における避難体制の確立を目指します。また、防災ほっとメールについても、より多くの市民に登録していただくよう広報啓発を重ねます。

### 7. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・議会・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
東日本大震災を契機に災害情報の伝達手段として、コミュニティFM局、携帯電話の電子メール等の活用が全国的に注目を集めています。	名張市告知放送受信機(防災ラジオ)の電波が入りにくい等の問合せがあり、外部アンテナや同軸ケーブル等により受信状況の改善を図っています。

### 8. 担当室による点検[事務事業をより良く(最適化)するために]

点検項目	具体的内容(選択肢・の場合) (4)は の場合
(1) 現在の事業費内で、更に効果を高める方法や工夫等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない	
(2) 効果・効率性の観点から他の事務事業と連携・統合を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない	
(3) 新たな財源確保や受益者負担の見直し等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない	
(4) 事業に関係する地域ビジョン(地区別計画含む)はあるか [選択肢] ある ない	
(5) 事業に地域ビジョンの内容を反映しているか(反映するか) [選択肢] 反映済み 反映を予定 反映予定なし(該当しない)	
(6) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない	

### 9. 今後の方向性(担当室による内部評価)

[選択肢] 継続(事務改善) 継続(現行) 継続(拡大) 休止・廃止検討 事業完了(完了予定含む)
「継続(現行)」の場合のみ理由を記載

特記事項